

2016年7月6日
株式会社日立製作所

日立のフラッシュストレージがゆうちょ銀行の情報系システムで稼働開始 データの読み出し時間を従来比2分の1以下に短縮

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)のフラッシュストレージが、このたび、株式会社ゆうちょ銀行(以下、ゆうちょ銀行)で利用する情報系システムに導入され、稼働を開始しました。これにより、ゆうちょ銀行では、システムの処理性能が大幅に向上し、データの読み出し時間を平均で従来の2分の1以下に短縮するなど、業務効率のさらなる向上を図ることが可能になりました。

国内の金融機関で最大規模の口座数を保有するゆうちょ銀行では、多様化するお客さまのニーズ、新商品やサービスの拡充、新しい法制度への対応などに伴い、データの処理件数が増加し、システムへの負荷が増加傾向にありました。

システム負荷の増加への対処としては、システム上のアプリケーションを修正する方法が一般的ですが、多大な時間と工数がかかるため、短期間で効率的にシステム性能を改善する方法が求められていました。

今回、ゆうちょ銀行では、日立のフラッシュストレージを導入したことで、情報系システム上のアプリケーションを修正することなく、システム処理性能の向上を実現しました。また、さまざまなデータについて、利用頻度に基づいた優先順位付けを行い、優先度の高いデータを既存のハードディスクドライブ(HDD)からフラッシュストレージに移行したことで、導入・運用コストの抑制も実現しました。さらに、ゆうちょ銀行のデータベースの稼働情報を用いた机上シミュレーションと、日立のテスト環境を利用したシステムの実機検証を事前に行ったことで、性能改善効果の高いシステムを円滑に導入できました。これらにより、コストを抑制しつつ、効率的な処理が実行されるシステム構築を短期間で実現しました。

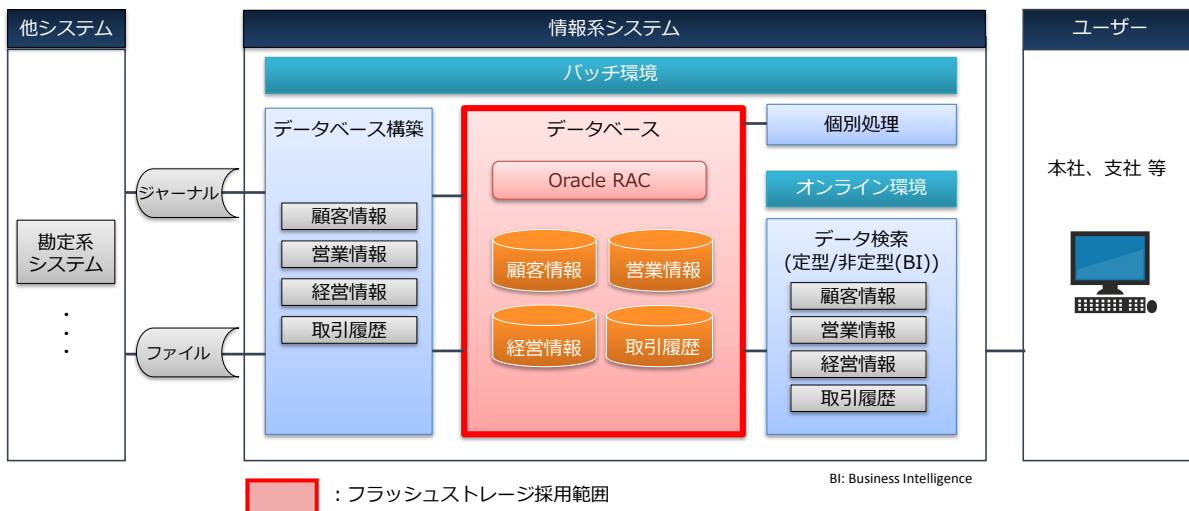
日立は、今後も、今回のシステムインテグレーションサービスをはじめ長年培ってきたノウハウを活用し、多様化する金融機関のニーズに柔軟に対応したシステムソリューションを総合的に提供し、金融機関におけるサービス品質の向上や業務の効率化などを支援していきます。

■今回採用された製品・ソリューションの特長

今回、採用された日立のフラッシュストレージは、ストレージシステム「Hitachi Virtual Storage Platform (以下、VSP) G1000」に、フラッシュモジュール「Hitachi Accelerated Flash」(以下、HAF)を搭載したものです。高いデータアクセス性能によるデータベースの高速処理化と高信頼性を実現しており、大量のデータの迅速な活用を可能にします。

また、今回の導入にあたっては、日立のデータベース高速化ソリューション「Flash Solution for Oracle」を活用しました。具体的には、情報系システムで利用している Oracle データベースにおける HAF の導入効果に関する机上シミュレーションを実施したほか、日立のテスト環境を使用して、導入効果の実機検証を行いました。これにより、性能改善効果の高いシステムを短期間で導入できました。

■ 本システムの概要図



■ 日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/>

■ 「Flash Solution for Oracle」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/oracle/info/support/solution.html>

■ 日立のフラッシュストレージに関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/storage/flash/>

■ 商標に関する表示

- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 金融システム営業統括本部 [担当:小清水]
 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号
 お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
